

市長のあまねくつぶやき

総合戦略書について

今月は「5つの重点プロジェクト」の3つ目、「住みやすい地域プロジェクト」です。合併以前は、市内に鉄道やバスが運行していません。近年は家庭において乗用車等の所有率や所有台数も増え、移動手段が鉄道やバスから自家用車に変わっています。しかし、高齢者や交通弱者にとっては、医療機関への通院、買い物、通勤や通学などにおける不便さが増加しています。

このため市内だけでなく、近隣地域への買い物や医療機関への通院のアクセス状況等を踏まえて、これらの利便性が向上するような方策を考えなければなりません。その際には公共交通全体についても併せて考えることが重要であり、路線バス、高速バス、乗合タクシー、スクールバス等を組み合わせて路線の整備を図る必要があります。

また、市内の公共施設は約180カ所（うち消防機庫が73カ所）あり、時代とともに老朽化が進むこととなります。築30年以上の施設が全体の約35パーセントもあり、今後の財政状況の見直しを考えると、全ての施設を更新することは難しい状況にあります。先行して、小・中学校の統合と併せて学校施設の更新を行いました。他にも、更

新をしなければならぬ施設があります。必要性や機能のあり方を見直して身の丈にあった数にしていくこととなります。

この4月に公共施設等管理計画を策定しました。施設や道路などの維持経費は今後40年間で約520億円、年間約13億円も掛かる計算になります。これらの経費を抑制させるためには単独活用施設にするのではなく、複合的な施設にすることも考えなければなりません。市民の皆さんと共に、公共施設等の在り方を議論することが重要になってきます。

今年3月に本市と小美玉市、石岡市、茨城町の3市1町で公共施設の共同利用の協定書を締結しました。それぞれの市の施設の有効活用を図ろうということ、このような取り組みを始めました。広域的に連携することにより、将来の負担軽減も見据えながら、公共施設等の適正化を考えていきます。

行方市長 鈴木周也



市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄
せください。

はい、こちら行方市消費生活センター！



宅配業者を装った「スパムメール」にご注意!!

【事例】

昨日、自宅のパソコンに「不在通知のお知らせ」というタイトルのメールが届いた。メールアドレスを見ると、某宅配業者からのメールのようだった。メールには、明日荷物が届くと書かれていた。メールに書かれている伝票番号を担当営業所に問い合わせると、そんな伝票番号はないと言われた。もし、荷物が届いてしまった場合、どうすれば良いか。

【解説】

事例のように、メールに書かれている伝票番号は架空である場合が多く見られます。メールに書かれている連絡先に電話したりせず、きちんとした担当営業所に問い合わせをして確認しましょう。それでも万が一、身に覚えのない荷物が自宅に届いた場合は、受け取り拒否をしましょう。

また、メールに添付されているURLをクリックしてしまうと、意図しないサイトへアクセスしてしまったり、大量の迷惑メールが送られるようになりやすくなる可能性がありますので、ご注意ください。迷惑メールであるか分からない等、ご不明な点がございましたら、行方市消費生活センターにご相談ください。

— まずはお電話を! —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎0291-34-6446